

福留開発 小学生にドローン教室

2019/12/18 四国

福留開発（高知市）は17日、いの町の伊野南小学校5年生を対象に「ドローンを使ってプログラミング体験教室」を開いた。

2020年度から小学校でプログラミングが必修化されることを受け、建設業とのコラボレーションとして企画。子どもたちは土木工事についての説明を受けた後、ドローンの種類や仕組みについて教わった。その後は6班に分かれ、子どもに親んでもらうよう開発されたアプリを使い、ドローンを飛ばした。さらに四角形や8の字に飛ぶよう、所定地点の間をメジャーで計測し距離と角度を入力。実際に飛ばしてみると、うまくできた子どもできなかった子もいたが、みんな楽しく興奮したようだった。

同社の大場将史常務は「ICTなどの新しい技術を伝えることで、建設業に興味を持ってもらうきっかけになってくれれば」と話していた。



自分でプログラミングしドローンを飛ばす子どもたち